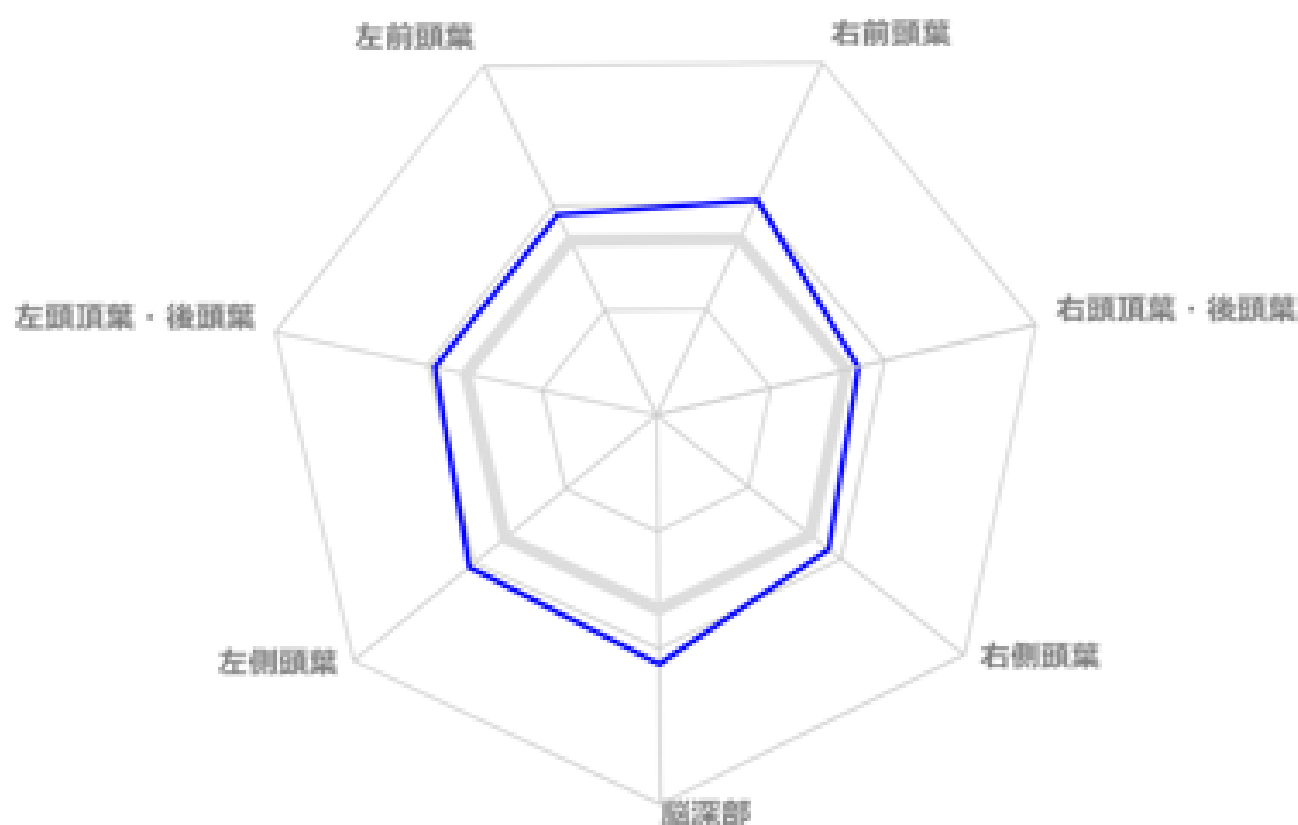


受診日	氏名	性別	受診時年齢
2021/07		男性	53

脳全体の萎縮度 | 分析データ詳細

あなたの脳の部位別サイズ

- 平均のサイズ - あなたのサイズ



構造物別の主な機能1)

前頭葉	論理や判断などの高次な脳機能を司る
頭頂葉・後頭葉	感覚、視覚、環境認識を司る
側頭葉	言語、聴覚、記憶、感情を司る
脳深部	感覚・運動を司る

1) 参考情報。脳の萎縮度の大小はこれら機能の優劣を判定するものではありません。

受診日	氏名	性別	受診時年齢
2021/07		男性	53

脳血管健康度 | 評価サマリー

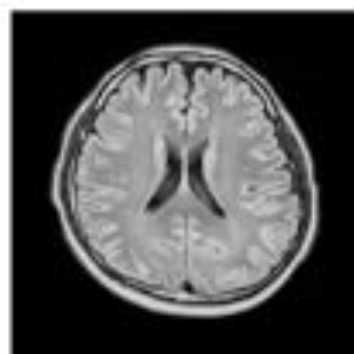
あなたの脳血管健康度

あなたの白質病変体積 2029mm³

白質病変量評価 良好

あなたの脳血管健康度は良好でした。今後も継続的な測定により、次頁に示す経年変化のグラフで健康度が維持できていることを確認していきましょう。

あなたの脳血管健康度検出用画像



脳血管健康度と白質病変

脳血管健康度の目安として、
白質病変体積を算出しています。

白質病変は、加齢とともに脳に現れる
白い領域です（右図参照）。

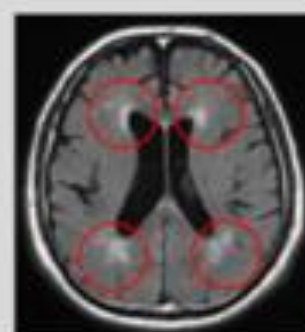
その量は、悪い生活習慣と関連しているとされており、認知機能の低下と関連があること、血管性認知症や脳梗塞の患者により多く見られることが報告されています。

同年代の平均的画像例



良好

白質病変のある画像例



やや注意

白質病変そのものは病気ではありませんが、ご自身の脳血管の健康状態を知り、管理するための参考指標として体積値を提示しています。

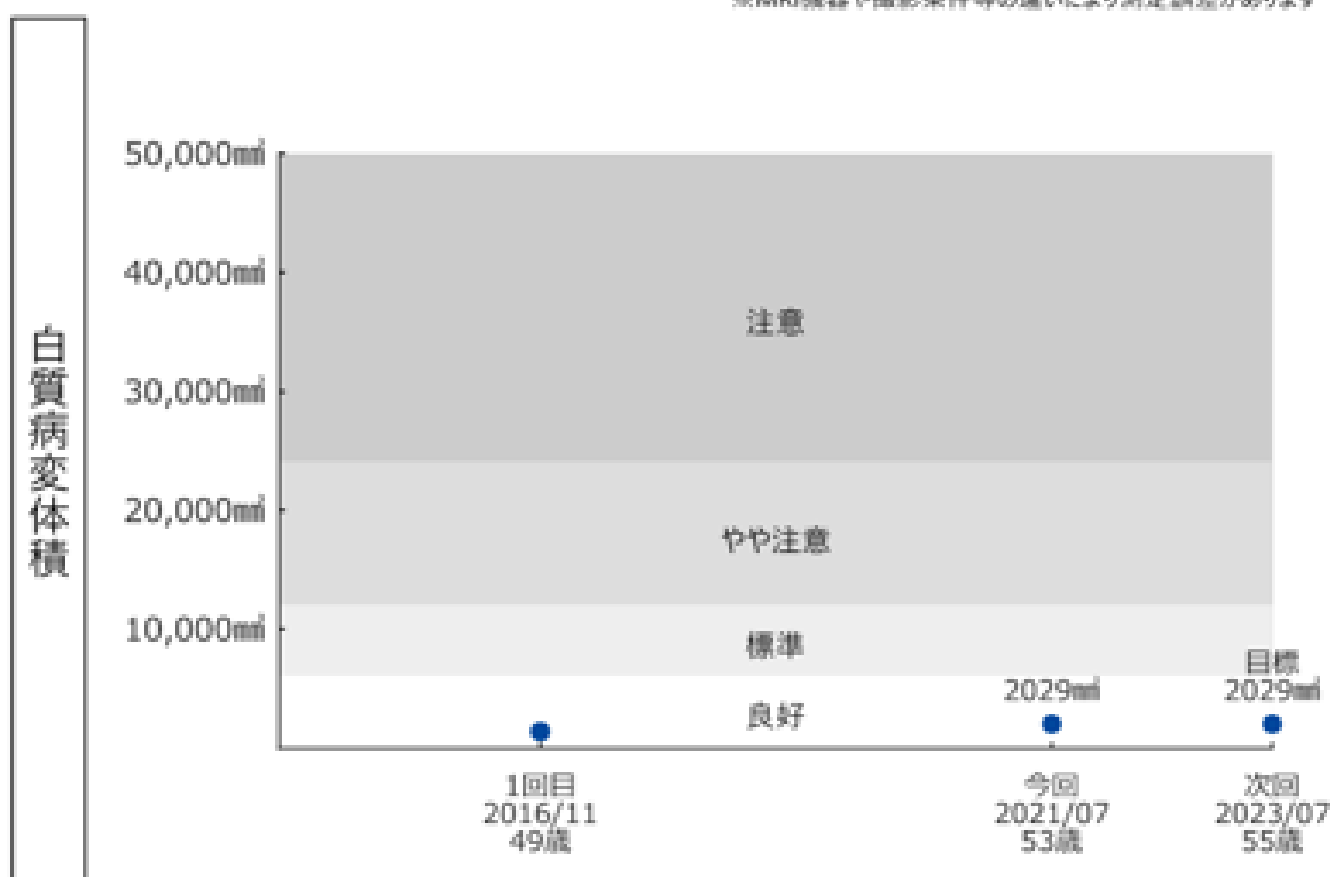
白質病変体積だけで脳血管の健康状態の全てを判断するものではないので、あくまで一つの目安と捉えて下さい。

受診日	氏名	性別	受診時年齢
2021/07		男性	53

脳血管健康度 | 経年変化

前回から白質病変体積が維持されています。今後も脳に良い生活習慣を継続して、さらに若々しい脳を目指していきましょう。

※MRI機器や撮影条件等の違いにより測定誤差があります



白質病変の経年変化の捉え方

- 白質病変体積は、単年度の結果でも測定意義がありますが、経年での変化も重要です。
- 白質病変量評価が<やや注意>または<注意>の方、または経年変化の大きい方は、生活習慣を見直す機会と捉えて下さい。
- さらに、2～3年に一度の計測により、生活習慣改善の効果を確かめましょう。

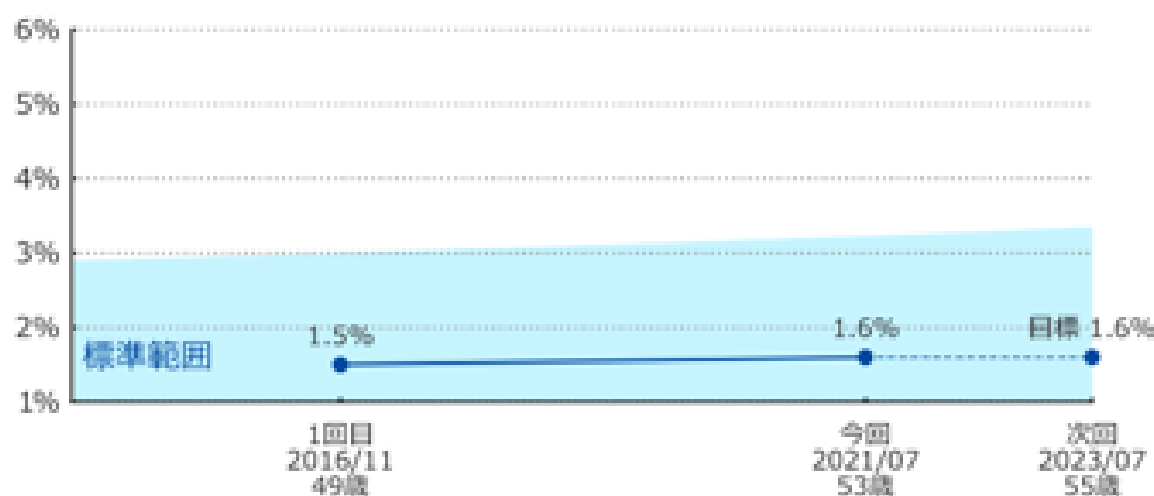
受診日	氏名	性別	受診時年齢
2021/07		男性	53

脳全体の萎縮度 | 経年変化と将来目標

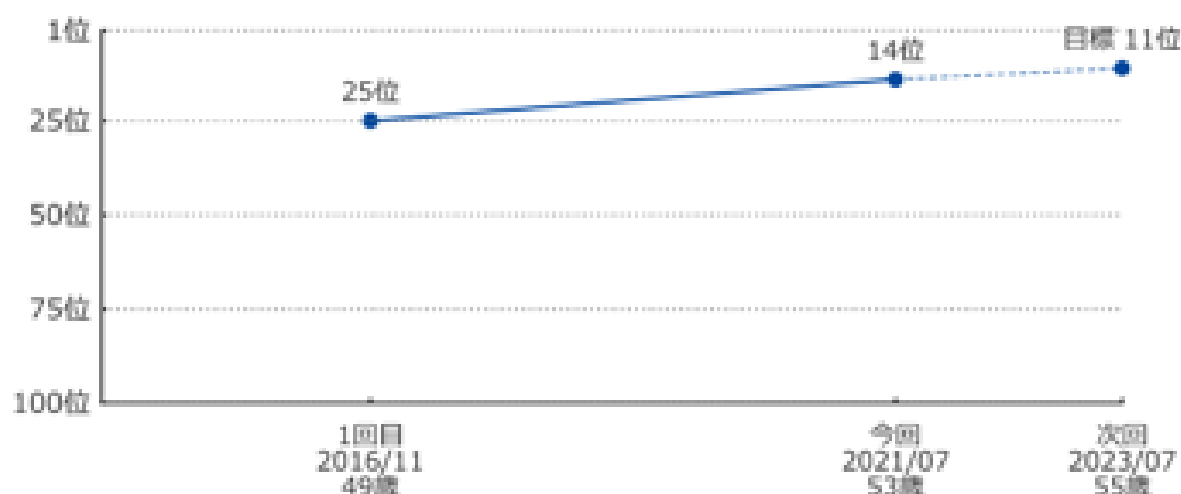
前回から脳の萎縮度の同年代ランキングが維持されています。この傾向を継続・改善するためにも、今後も脳に良い生活習慣を継続していきましょう。

※MRI機器や撮影条件等の違いにより測定誤差があります

脳の萎縮度



同年代ランキング



脳全体の萎縮度の経年変化の捉え方

- 萎縮度の経年変化が通常の加齢性変化の範囲内にあるかを確認します。
- 2～3年に一度は測定し、脳の健康状態の維持・増進の動機づけにご活用ください。
- 3年以上かつ3回以上の測定結果があると、変化の傾向がより分かり易く出ます。

受診日	氏名	性別	受診時年齢
2021/07		男性	53

脳全体の萎縮度 | 評価サマリー

あなたの脳全体の萎縮度

脳全体の萎縮度	1.6 %
同年代のランキング	14 位 / 100人中
脳年齢	47 歳

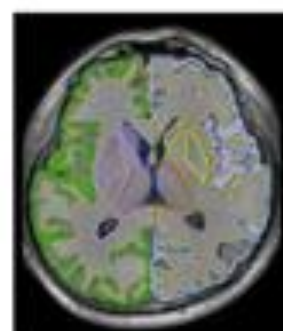
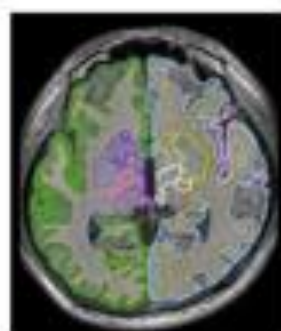
萎縮度評価

良好

2～3年に一度の継続観察を推奨

あなたの脳の萎縮度は同年代の方と比べて少ないです。脳の萎縮は、加齢に加え生活習慣、環境、基礎疾患と関連があることが報告されています。今の若々しい状態を保つよう、今後も脳に良い生活習慣を心がけていきましょう。2～3年に1度の継続観察をお勧めします。

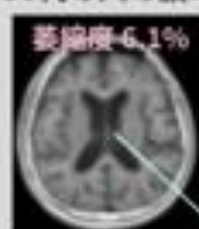
あなたの脳画像



脳全体の萎縮について

- 脳は、30歳を過ぎると徐々に萎縮が始まります。誰にでも起きる加齢性の変化ですが、その程度は人により著しく異なります。
- 本レポートでは、この萎縮の程度を、脳室という脳内の「隙間」が脳全体に占める割合を「萎縮度」として示しています。
- 図は50代の人々の脳の比較例です。上図は脳室（暗部）が大きく拡大し萎縮が進行していますが、下図は脳室がほとんど開いておらず脳が「若々しい」状態を保っています。
- 脳の萎縮は、不健康な生活習慣により加速するという報告があります。脳の若々しさを保つために、状態を数字で知ることから始めましょう。
- 付録に、各年代の平均的な萎縮度と脳画像を示していますのでご自身の脳画像と比べてみてください。

50代の人々の脳の比較例



萎縮度-6.1%

萎縮進行

脳室



萎縮度-1.6%

若々しい